

作成日：2017年 7月 1日

改訂日：2022年 3月28日

製品安全データシート

整理番号：M-401

1. 製品及び会社情報

製品名 : セハー薬用CWハンド泡せっけん (販売名：薬用フォームウォッシュS)
推奨用途 : 皮膚の洗浄、殺菌、消毒
会社名 : 株式会社セハージャパン
住所 : 〒110-0016 東京都台東区台東1-32-8
担当部門 : 営業部
電話 : 03-3839-7531
ファックス : 03-3839-7532
緊急連絡先 : 同上
製造販売元 : 株式会社ヘルスケミカル

2. 物質の特定

単一製品及び混合物の区分 : 混合物
構造式 : 表記不可
含有量 : 表記不可
化審法 : 表記不可
含有成分
有効成分 : イソプロピルメチルフェノール
その他の成分 : 常水、ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、水酸化カリウム
ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸塩、ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド
ラウリルヒドロキシスルホベタイン液、グリセリン、ヒアルロン酸ナトリウム (2)
加水分解コラーゲン液、エタノール、エデト酸塩、メチルパラベン

3. 危険有害性の分類

分類名称 : 分類基準に該当しない。
危険性 : 記載すべき特別な危険性は知られていない。
有害性 : 人によっては皮膚、眼を刺激することがある。
環境影響 : 自然界で徐々に分解される。

4. 応急処置

眼に入った場合 : 直ちにまぶたを開いて、流水で洗浄する。
皮膚に付着した場合 : 特に処置を要しないが、長時間皮膚に付着させることを避ける。
吸入した場合 : 鼻をかみ、うがいをさせる。症状が出た場合、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 : 水を飲ませるなどの処置をし、直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の処置

保護具 : 一般慣例に従う
消火方法 : 消火剤を用いて風上から消火する。
消火剤 : 水、二酸化炭素、泡、粉末消火剤

6. 漏出時の措置

大量の水で洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

7. 取扱い上の注意

取扱い時	:	眼に入らないようにする。
保管	:	通風をよくし、直射日光が当たらない冷暗所に保管する。

8. ばく露防止措置

管理濃度	:	データなし
許容濃度	:	データなし
設備対策	:	多量の水を流せる設備
保護具	:	状況に応じて着用する。
保護衣	:	状況に応じて着用する。

9. 物理/化学的性質

外観	:	無色透明液体
臭い	:	基剤臭
沸点	:	不明
蒸気圧	:	不明
蒸気比重	:	不明
揮発性	:	なし
融点	:	不明
比重又は高比重	:	1.006 (25℃)
水溶解性	:	任意の割合で混和
pH	:	9.00~10.50 (原液)

10. 危険性情報

引火点	:	不燃
発火点	:	不燃
爆発限界 (上限/下限)	:	データなし (原材料の性質より爆発性はないものと考えられる)
可燃性	:	不燃
酸化性	:	なし
自己反応性・爆発性	:	データなし (原材料の性質より爆発性はないものと考えられる)
安定性・反応性	:	通常の実用条件下で安定

11. 有害性情報

皮膚腐食性	:	なし
皮膚刺激性	:	人によっては刺激性あり
眼刺激性	:	あり
感作性	:	データなし
急性毒性	:	データなし
亜急性毒性	:	データなし
慢性毒性	:	データなし
ガン原性	:	データなし
変異原性	:	データなし
生殖毒性	:	データなし
催奇形性	:	データなし

12. 環境影響情報

分解性	:	自然界で分解される
蓄積性	:	認められていない
魚毒性	:	データなし
その他の情報	:	製品・高濃度の溶液を直接河川及び浄化槽に流さない。

13. 廃棄上の注意

多量の水で希釈して流す。
製品の容器及び包装は各自治体の廃棄規則に従い廃棄すること。

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れのないことを確かめる。
荷崩れ防止を確実にを行う。
該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
湿気、直射日光を避ける。

15. 適用法令

適用法令該当なし

16. その他

事故・災害事例 : 記載される情報はない
引用文献 : 社団法人日本化学工業協会編「製品安全データシートの作成指針」
記載内容の取扱い : 記載された内容は、入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、記載のデータや危険、有害性の評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。又、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。
記載された注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、ご使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
すべての化学物質には未知の危険性、有害性が存在するという認識で、開封から保管、廃棄に至るまで、細心の注意を払ってご使用ください。
本品の適正に関する決定は、使用者の責任において行ってください。